

# モズのはやにえ

2020.1.28 自然解説員 神谷耀生



ケラ



ハッカハムシ



アカムカデの仲間



コモリグモの仲間

この時期、低木のえだやトゲを見て回ると、昆虫やカエルなどのミイラがくしざしになっていることがあります。

これはモズという野鳥<sup>やちょう</sup>のしわざで、くしざしミイラにされた生き物は「はやにえ」とよばれます。真冬につがいをつくるこの鳥は、オスが歌を歌ってメスをさそいます。研究者によると、モズのオスは栄養<sup>えいよう</sup>たっぷりの「はやにえ」を食べることで、より早口で歌を歌ってメスにモテることができるそうです。

「はやにえ」にされた虫たちを見ると、ふだんは地中にもぐっているケラや、においのきついハーブを食べるハッカハムシ、かまれると痛い<sup>いた</sup>ムカデ、足の速い<sup>はや</sup>コモリグモなど、ひとくせもふたくせもあるメンツがそろっていて、モズのたくましさを感じさせます。昆虫の少ない冬ですが「はやにえ」を探して、森にくらす虫や、虫が支える小鳥たちの命に思いをはせてみるのはいかがでしょうか。

作成：2021年1月 21世紀の森と広場 パークセンター